

安全データシート

改訂日：2023年8月24日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称
推奨用途
会社名
住所
電話番号

りんモリブデン酸n水和物
試験研究用
米山薬品工業株式会社
大阪府中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
IB0518

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性／刺激性：区分1
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性：区分1
発がん性：区分2

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷
発がんのおそれの疑い

注意書き

【安全対策】
全ての取扱注意を読み、理解するまで取扱わないこと。
適切な保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
指定された個人用保護具を着用すること。
粉じん又はミストを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

【応急措置】
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズをしていて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
暴露又は暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。

【保管】
施設して保管すること。

【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名又は一般名

別名

化学式

化学物質を特定できる一般的な番号

官報公示整理番号(化審法/安衛法)

その他

化学物質
りんモリブデン酸n水和物
12-モリブド(VI) りん酸n水和物
 $P_2O_5 \cdot 24MoO_3 \cdot nH_2O$
CAS RN: 51429-74-4
(1)-714
HSコード: 2811.19

4. 応急措置

吸入した場合

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

飲み込んだ場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
直ちに汚染された衣類を全て脱ぐ／取り除く。皮膚を流水／シャワーで洗う。
水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズをしていて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
水でうがいさせ、水又は牛乳を飲ませる。無理に吐かせてはならない。速やかに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

使ってはならない消火剤

泡消火薬剤、粉末消火薬剤、二酸化炭素
該当情報なし。

特有の危険有害性	該当情報なし。
特有の消火方法	周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所へ移す。移動不可能な場合は散水して冷却する。
消火を行う者の保護	消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。
6. 漏出時の措置	処理を行う際には、ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
環境に対する注意事項	こぼれた物質をプラスチック容器内に掃き入れる。湿らせてもよい場合は、粉塵を避けるために湿らせてから掃き入れる。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	該当情報なし。
二次災害の防止策	
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	該当情報なし。
技術的対策	局所排気または全体換気を行なう。
(局所排気、全体排気)	粉じんを吸入しないこと。
安全取扱い注意事項	酸化剤、有機物、金属粉末との接触を避ける。
接触回避	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
衛生対策	取扱い後は手などをよく洗うこと。
保管	容器を密閉し、涼しく換気の良いところに保管する。
安全な保管条件	ガラス
安全な容器包装材料	
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度(出典)	TWA 0.5mg/m ³ (モリブデン水溶性化合物として:ACGIH)
設備対策	局所排気装置を設置する。
保護具	
呼吸用保護具	呼吸器用保護具を着用すること。
手の保護具	保護手袋を着用すること。
眼の保護具	保護眼鏡、保護面を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	呼吸器用保護具、保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	結晶性粉末
色	黄色
臭い	該当情報なし。
融点/凝固点	該当情報なし。
沸点又は初留点及び沸点範囲	該当情報なし。
燃焼性	該当情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	該当情報なし。
自然発火温度	該当情報なし。
分解温度	該当情報なし。
pH	水溶液は酸性である。
動粘性率(粘度)	該当情報なし。
溶解度	水、エタノールに易溶である。
n-オクタノール/水分配係数	該当情報なし。
蒸気圧	該当情報なし。
密度及び/又は相対密度	該当情報なし。
相対ガス密度	該当情報なし。
蒸発速度	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	通常の取扱いにて安定。
危険有害反応可能性	水溶液は酸性で腐食性を示す。
避けるべき条件	湿気、日光、熱、混触危険物質との接触
混触危険物質	酸化剤、有機物、金属粉末
危険有害な分解生成物	りん酸化物、モリブデン酸化物
11. 有害性情報	
急性毒性	該当情報なし。(分類できない)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	水溶液は強酸性であり、また、EU-Annex I でR34に分類されている為、腐食性物質と考えられる。(区分1)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	皮膚腐食性物質であり、重篤な眼の損傷を与える物質と考えられる。(区分1)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	該当情報なし。(分類できない)
生殖細胞変異原性	該当情報なし。(分類できない)

発がん性	ACGIHでは可溶性モリブデン化合物はA3(動物に対して発がん性が確認されたが、ヒトへの関連性は不明な物質)と分類している。(区分2)
生殖毒性	該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性(単回暴露)	該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性(反復暴露)	該当情報なし。(分類できない)
誤えん有害性	該当情報なし。(分類できない)
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期: (急性) 該当情報なし。 長期: (慢性) 該当情報なし。
残留性・分解性	該当情報なし。
生体蓄積性	該当情報なし。
土壌中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意	
国連番号	3260
品名(国連輸送名)	腐食性固体(酸性、無機物)
国連分類	クラス8(腐食性物質)
容器等級	—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	154
15. 適用法令	
化学物質管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質〔モリブデン及びその化合物〕
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(第57条及び施行令18条、第57条の2及び施行令18条の2)〔モリブデン及びその化合物〕 危険性又は有害性を調査すべき物〔モリブデン及びその化合物〕 作業場内表示義務(法第101条の4) 危険物に該当しない。
消防法	腐食性物質(危規則第3条危険物別表第1)
船舶安全法	腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)
航空法	
16. その他の情報	
参考文献	The-Sigma-Aldrich Library REGULATRY snd Safety Data Vor.3 17423の化学商品(化学工業日報社) 化学物質の環境リスク初期評価(モリブデン) GHS対応ガイドライン(日本化学工業協会) GHSの挑戦(化学工業日報社) 記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。